

鹿沼まるごと博物館 第7回企画展

災禍の祈り

2022.2.3 THU.-2.13 SUN.
9:00-17:00

8日(火) 休館

鹿沼市民文化センター 多目的ギャラリー
入場料無料 鹿沼市坂田山 2-170



主催：鹿沼市、鹿沼市教育委員会、(公財)かめま文化・スポーツ振興財団

令和元年(2019)末から全世界で蔓延している新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活を大きく変貌させました。

災禍は私たちの歴史や民俗文化に対する意識に影響を及ぼしています。平成23年(2011)の東日本大震災以降、災害の歴史を解き明かす「災害史」の重要性が認識されるようになりました。また、コロナ禍では、江戸時代の妖怪アマビエが厚生労働省の感染拡大防止のキャラクターに採用されるなど、閉塞感をユーモアで乗り越えようとする動きがみられています。

本企画展では、鹿沼の人びとが災禍にどのように向き合ってきたのかを、有形・無形の「祈り」の資料から明らかにしていきます。



小松神社天下式閩白流獅子舞



令和元年東日本台風における史料レスキュー

豪雨、コロナ禍、 私たちの祈り

記念講演会

「いのちを守る 文化財を守る」

日時:2月6日(日)14:00-16:10
会場:市民文化センター 大会議室 定員:50名

- ①「災害からいのちを守るためには - 自助力を高める -」
講師:宇賀神 一晃氏(NPO 法人栃木県防災士会 理事)
- ②「とちぎ歴史資料ネットワークの役割 - 史料を守り、歴史を伝える -」
講師:高山 慶子氏(宇都宮大学 准教授)

「いまふりかえる 疫病とのたたかい」

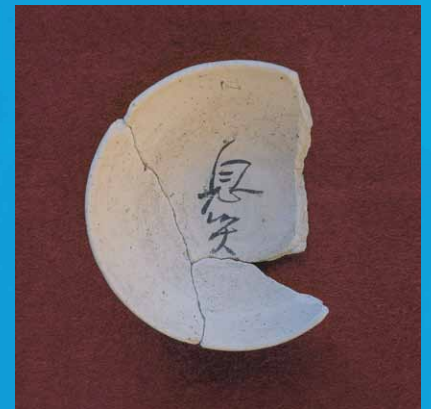
日時:2月12日(土)9:30-11:50
会場:市民文化センター 大会議室 定員:50名

- ①「疱瘡神の詫び証文 - 鹿沼における呪符の伝播 -」
講師:久野 俊彦氏(東洋大学 非常勤講師)
- ②「100年前のマスクと予防接種 - スペイン・インフルエンザの流行 -」
講師:下田 太郎氏(随想舎 編集部)

- ※ 各講演会ともに電話予約が必要です。(TEL:0289-62-1172)
予約受付は1月11日(火)9:00から開始。定員に達し次第締め切ります。
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

ギャラリートーク

日時:2月5日(土)、2月11日(金・祝) 各回10:00-11:00
会場:市民文化センター 多目的ギャラリー (※予約不要)
講師:企画展担当職員



鹿沼城址出土 墨書土器 息災(鹿沼市教育委員会蔵)



疫病神の詫び証文(鹿沼市教育委員会蔵)